

2023年7月13日

関係各位

東北大学大学院教育学研究科長
野口 和人

教員の公募について

記

1. 職種・人員 講師（テニュアトラック）もしくは准教授・1名
(1) 審査の結果、講師としての採用となった場合は、任期5年のテニュアトラック教員として常勤で雇用する。採用4年目にテニュア付与に係る審査を行い、その結果を4年目終了時までには通知する。この審査に合格したテニュアトラック教員は、テニュアを付与した（任期の定めのない）准教授とする。
(2) 審査の結果、准教授としての採用となった場合は、任期の定めのない常勤教員として雇用する。
2. 所属講座 大学院教育学研究科 教育情報アセスメント講座
3. 担当領域 教育統計学もしくは心理統計学
4. 採用年月日 2024年4月1日（予定）
5. 応募資格 (1) 博士の学位を有すること（採用時までの取得が見込まれる者も含む）
(2) 教育統計学もしくは心理統計学、または教育・心理・社会等に関する統計的な数量分析における優れた研究業績を有すること
(3) 文系学生に対する統計教育（データ分析能力養成）に対する熱意があること
(4) 研究科における研究・教育・運営に貢献しうること
6. 担当科目等 大学院：教育測定学特論Ⅰ，教育測定学研究演習Ⅰ，教育測定学概論 等
学部：教育統計学，教育学研究入門 等
7. 待遇 東北大学職員就業規則，東北大学職員給与規程に基づく年俸制
8. 提出書類 (1) 履歴書（大学指定の様式を使用し，写真を付けること）
(2) 研究業績目録（縦置きA4判に横書きで，学位論文，著書，研究論文，その他の論文，国際学会発表（招待講演等），国際学会発表（一般講演等），国内学会発表（招待講演等），国内学会発表（一般講演等），学会活動，社会的活動，競争的外部資金獲得状況等に分け，それぞれ発表/活動の新しい順に番号を付し，研究論文については査読の有無を明記し，学会発表については査読の有無，口頭発表/ポスター発表の区別，プロシーディング論文があればその文献情報，競争的外部資金獲得状況については代表者・分担者の別を明記すること）
(3) 主要な著書もしくは研究論文，計5点以内（A4判にコピーして提出すること）
(4) 着任後の研究・教育・運営に関する抱負，特に教育面に関しては文系学生に対する統計教育の在り方について述べること（縦置きA4判に横書きで2,500字程度）

(5) 応募者について問い合わせのできる方2名程度のお名前と連絡先（所属、電話番号、E-mail アドレス等）を記載した書面（縦置き A4 判に横書き）

9. 応募締切 2023年8月10日（木）正午
10. 提出方法 JREC-IN Portal でWeb 応募すること。
11. 問い合わせ先 東北大学大学院教育学研究科 教授 小嶋 秀樹
Email : xkozima@tohoku.ac.jp
12. その他
- ・必要に応じて追加書類の提出を求める場合や面接を行うことがあります。ただし面接に要する旅費等は応募者の負担となります。
 - ・応募の秘密は保持し、応募書類から得た個人情報はこの案件のみに使用します。
 - ・応募書類は、候補者選考終了後に返却しません。
 - ・本研究科の概要については、教育学研究科 HP (<https://www.sed.tohoku.ac.jp>) をご覧ください。
 - ・東北大学は多様性、公正性、包摂性 (Diversity, Equity & Inclusion : DEI) を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。
東北大学 DEI 推進宣言 WEB ページ
<http://tumug.tohoku.ac.jp/dei/>
 - ・雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第8条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。
 - ・学生および教職員が学業・研究・職務の遂行において、多様な性を尊重する環境を実現することを目的として、その方針と具体的な対応の内容を示した「東北大学-みんなが主役-多様な性に関するガイドライン」を制定しています。
ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ
http://tumug.tohoku.ac.jp/tu_guideline_rev2-2/
 - ・東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園（定員22名）及び青葉山みどり保育園（定員116名）の他、大学病院所属の職員等が利用できる星の子保育園（定員120名）があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。
 - ・その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。（JREC-IN では、「共同参画にも取り組んでおります。」）
ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ
<http://www.tumug.tohoku.ac.jp/>
人事企画部 WEB ページ
<https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>
 - ・育児休業を取得する場合、教育研究の推進上必要と認めるときは、休業期間の範囲内で当該任期を延長 することがあります。